

「には」と「では」はどう？ PDF转换可能丢失图片或格式，建议阅读原文

https://www.100test.com/kao_ti2020/260/2021_2022__E3_80_8C_E3_81_AB_E3_81_AF_E3_c105_260819.htm 「に」と「で」は非常に多くの用法がられるため、ここではすべての用法を列挙することはできませんが、そうした中で者が意味的に非常に似たに立つことがあります。その一例として例えば次のような合がげられます。にはたくさんの人が集まっていた。ではたくさんの人が集まっていた。これらは若干のニュアンスのいはあるものの、そこに表されている内容はほぼ同じことがらを指し示しています。この点について考える前に、まず「に」と「で」のいについてごくな例を用いて察することにします。部屋に机がある。×部屋で机がある。部屋で子供がゲームをしている。×部屋に子供がゲームをしている。これらの例では「部屋で」と「部屋に」がどちらも〔所〕を表していますが、後ろにくる表によって「に」が使えない合と「で」が使えない合があります。このいはそれぞれの〔所〕が「何かが存在する所」であるか「作#12539.出来事が起こっている所」であるかといういにしていきます。すなわち〔存在〕の所を指す合は「に」が用いられ、〔作#12539.出来事〕の所を指す合は「で」が用いられています。したがって、この「に」が使えない合とは〔作#12539.出来事〕の所を指す合ということになります。では最初の例はなぜ「に」も「で」も用いることが可能なのでしょうか。それは「集まっている」という表の表す意味の多さとしています。「集まっている」は「集合する」と

いう作や「集会をく」という行が今日の前で行われているという解を持つ一方で「集まった果そこに数の人が存在する」という解も可能です。これはつまり文次第で「集まっている」という表に作や行の解と存在の解のいずれをみこむことも可能であるということです。したがって前者の合は「集まる」行を行う所を「で」で指し示し、後者の合は「集まっている」存在の所を「に」で指し示すことになるわけです。 100Test 下载频道开通，各类考试题目直接下载。详细请访问 www.100test.com